

NOTEBOOK

令和6年度 3学年

シラバス

Harayamadai Junior high school

原中生の成長が
この **仲間** の中にある!!



堺市立 原山台中学校

〒590-0132

堺市南区原山台4丁2番1号

TEL 072-299-5135 FAX 072-299-5141

<http://harayamadai-j@sakai.ed.jp>

シラバスについて

■シラバスとは

ギリシャ語に語源を持つ言葉で、現代では「各教科の授業内容や学習方法、評価方法などを記した総合的な学習計画」のことをシラバスと呼んでいます。

原山台中学校の「シラバス」は、本校のめざす生徒像としている、「愛・学・健」の精神を土台に、基礎学力の学習習慣の定着をめざし、1年間の授業の流れを見通して、これから何を・何のために・いつ・どう学ぶかを知らせる、簡単な学習計画として作成しています。



■シラバスの3つの意義

1. 生徒の皆さんが、より計画的・主体的に授業に取り組めるよう、**1年間の学習の「道しるべ」**とする。
2. 生徒の皆さんはもちろん、保護者や地域の皆さんへ、本校の学習内容についてお知らせする。
3. お知らせした学習内容をもとに、よりよい教育の実現をめざして、われわれ教員にとっても**授業改善の契機**とする。

※随時改定がありますので、授業が本シラバス通りに行われない場合もあります。規制されていない部分は、授業等で説明させていただきます。



評価について

～人と比べる評価から、自分の学びを見つめる目標に準拠した「絶対評価」に！～

■「観点別学習状況評価」から「評定」への総括



- ・授業における評価資料をもとに、各教科における3観点ごとに学習状況をABCの3段階で評価します。
- ・観点ごとの学習状況をもとに総括し、評定を54321の5段階で評価します。
- ・また、公立高校の入試で用いる調査書には、**すべての学年**の評定を記入します。

※各学年の調査書評定には比率を設けて合計することとなっております。 ⇒ **1年生:2年生:3年生＝1:1:3**

※なお、各学年の評定の確定には、各学年のチャレンジテスト結果による関係性があることを申し添えます。

授業力を高める工夫について

～生徒たちの「主体性」が育つ授業へ～

■指導のねらいを明確にし、1時間の授業で身につけ(る)させたい学びを明確にする。

	生徒	先生
	授業挨拶(休み時間との切り替え)、教室環境・机の整頓、机の上の授業準備	
めあて	指導のねらいを明確にし、学習への意欲を高める	学ばせたい・身につけさせたいことを明確にする
展開	自分で考え、自ら表現する	思考を助ける具体物や資料等の工夫
	集団で考え、表現する	発表させ、相互に聞かせることで考えを深めさせる
ふりかえり	学んだこと、わかったことを確かめる	めあてに対応したまとめを板書したり、書かせたり、ふりかえりの手掛かりを示す。
	生徒のノート記述等を授業導入で取り上げたりし、授業と家庭学習とを関連づける。	

【令和6年度 重点目標】



新しい時代を生き抜く子どもの育成
～子どものチャレンジを大切にした教育活動の推進～

①新しい時代を生き抜く子どもに必要な探究的な学びの推進

- (1) 「学びのコンパス」、「堺 STEAM ブック」導入への準備
- (2) 個別最適な学びと協働的な学びの充実



②「ICT による学習環境」の推進

- (1) 一人一台端末を活用した主体的な学びの推進
- (2) ICT 機器を用いた個別最適な学習を推進
- (3) 生徒の情報活用能力の育成



③「指導と評価の一体化」による授業改善

- (1) 「学習記録、評価規準の可視化」による学習意欲の向上
- (2) 「知識・技能」、「思考・判断・表現」を基に、
「主体的に学習に取り組む態度」の評価研究と授業実践

令和6年度 シ ラ バ ス

第(3)学年(国語)科

令和6年度 学習力重点目標

【授業時間数及び年間授業時間数】 週 3時間 年間 105 時間

新しい時代を生き抜く子どもの育成 ～子どものチャレンジを大切にした教育活動の推進～

1. 到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。

(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともにわが国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2. 使用教材と持ち物一覧

① 教科書 ②ノート・のり ③ 書写の教科書 ④ 新基礎の学習 ⑤つまづかない文法 ⑥たびたび漢字練習帳 ⑦ 習字セット ⑧色鉛筆など	毎回の持ち物 ① ② 学校に置いておくもの ③ 家庭学習で使うもの ④ ⑤ ⑥ 必要に応じて持ってくるもの ⑦ ⑧
--	--

3. 学習力アップのために

授業で	家庭で	テスト対策
・授業の根幹は先生の話です。だからこそしっかりと話を聞くことが大切になってきます。先生が話していた内容で、大切だと思ったこともノートに書き留めていきましょう。 ・班で学ぶときには、しっかりと班の人の話を聞き、自分の考えの質を高めていきましょう。疑問を共有することが大切です。 ・課題としっかりと向き合い、思考力のトレーニングをおこなっていきましょう。人は考えているときにどんどん力がついていきます。	・家庭ではワークを使って学習をしてもらいます。提出日や提出範囲を指示することもあります。提出物に沿って自分で学習を進めていきましょう。特に漢字については、普段から習ったものを使う習慣をつけてください。 ・授業中に終わらなかった課題は、宿題になります。家で調べて、考えて取り組んでいきましょう。	・まずは授業をまとめたノートをしっかりと見直しましょう。特に、先生が重点的に説明していたことを思い出し、授業でどのような力を身につけたのかよく思い出しましょう。 ・提出物に関しては、期限に間に合うように計画的に取り組みましょう。答え合わせを自分で行い、自分で学習を進めることで、確かな力がついていくはずですよ。 ・テスト返却時、解説をしっかりと聞き、振り返る

4. 年間計画

1学期		2学期		3学期	
4月	世界はうつくいと 握手 評価しながら聞く	9月	挨拶 故郷 聞き上手になろう [推敲]論理の展開を整える 言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語	1月	温かいスープ わたしを束ねないで
5月	学びて時に之を習ふ、情報整理のレッスン 文章の種類を選んで書く 熟語の読み方 作られた「物語」を超えて	10月	漢字2 漢字の造語力 人工知能との未来 多角的に分析して書く 漢字に親しもう4 話し合いを効果的に進める	2月	三年間の歩みを振り返ろう 漢字に親しもう6
6月	思考のレッスン 説得力のある構成を考えよう 漢字に親しもう2 実用的な文章を読もう	11月	合意形成に向けて話し合おう 初恋 和歌の世界 古今和歌集 仮名序 君待つと 夏草	3月	学習を振り返ろう
7月	俳句の可能性 言葉を選ぼう 言葉1 和語・漢語・外来語 読書を楽しむ 「私の一冊」を探しにこう	12月	古典名句・名言集 誰かの代わりに 情報を読み取って文章を書く 漢字3 漢字のまとめ エル・サルバドルの少女 ヘース		

5. 評価について

観点	評価の観点	主な評価資料
知識・技能	言葉の特徴 使い方(漢字・語句・文法) 情報の扱い方(情報の整理や活用) 伝統的な言語文化(古文や韻文の知識) (書写)	ペーパーテスト 小テスト レポート ワークシート テスト 作品
思考・判断・表現	話すこと 聞くこと 書くこと 読むこと	聴き取りテスト スピーチ 話し合い 作文課題 ワークシート ワークシート テスト
主体的に学習に取り組む態度	粘り強い取り組み 自己調整力	提出物 授業態度の見取り ノートの記述状況 ワークシートの記述 ふりかえりプリント

令和6年度 シラバス

第(3)学年(社会)科

令和6年度 学習力重点目標

【授業時間数及び年間授業時間数】 週4時間 年間140時間

新しい時代を生き抜く子どもの育成 ～子どものチャレンジを大切にした教育活動の推進～

1. 到達目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

(1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

(3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

2. 使用教材と持ち物一覧

① 教科書(歴史、公民) ② ワーク ③ ファイル ④ 地図帳	毎回の持ち物 ① ③ 学校に置いておいてもよいもの ④ 家庭学習で使うもの ① ② ③
--	---

3. 学習力アップのために

授業で	家庭で	テスト対策
・学習目標を明確にし、今までの学習を踏まえ、毎回の授業を主体的に取り組みましょう。 ・「なぜ」という疑問を大事にしましょう。授業内で課題を考えると、教科書や今までの学習を踏まえて自分で考え、自分の意見をプリントに記入しましょう。 ・考えたことは発表し聞くことで考えを深め広げます。最後には、わかったことを確かめ、学んだことが活用できるよさを実感します。 ☆わからなければ、となりの人や先生に聞く。わからないままおいておかない。	・毎回の授業プリントの終わりに振り返りの欄をつくっています。その日学んだ内容はその日のうちに振り返ることで知識が定着します。 ・家庭ではワークを使って学習をしてもらいます。提出日や提出範囲を指示することもあります。授業に沿って自分で学習を進めていきましょう。 ・家庭学習で出た疑問は置いておらずに学校に来たときに解決するようにしましょう。	・まずは授業をまとめたプリントをしっかりと見直しましょう。特に、先生が重点的に説明していたことを思い出し、授業でどのような力を身につけたのかよく思い出しましょう。 ・教科書やワークにある資料をよく見て、その資料から分かることは何か、などの読み取る力を伸ばしましょう。 ・提出物に関しては、期限に間に合うように計画的に取り組みしましょう。答え合わせを自分で行い、自分で学習を進めることで、確かな力がついていくはずです。

4. 年間計画

1学期		2学期		3学期	
4月	【歴史】近代国家の歩みと国際社会	9月	【公民】私たちと現代社会	1月	【公民】私たちと国際社会
5月	【歴史】二度の世界大戦と日本	10月	【公民】私たちの生活と政治	2月	【公民】私たちの課題
6月	【歴史】現在に続く日本と世界	11月	【公民】私たちの生活と経済	3月	
7月		12月			

5. 評価について

観点	評価の観点	主な評価資料
知識・技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	ペーパーテスト・小テスト・ワークの取り組み・授業プリントの取り組み
思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	ペーパーテスト・小テスト・レポート課題
主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	ペーパーテスト・小テスト・レポート課題・授業プリントのふりかえり・授業態度の見取り

令和6年度 シラバス

第(3)学年(数学)科

令和6年度 学習力重点目標

【授業時間数及び年間授業時間数】 週4時間 年間140時間

新しい時代を生き抜く子どもの育成 ～子どものチャレンジを大切にした教育活動の推進～

1. 到達目標

- (1) 数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深める。
- (2) 数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高める。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする事、ならびに粘り強く取り組む態度を育てる。

2. 使用教材と持ち物一覧

①教科書 ②ファイル ③ワーク（数学の学習ノート、 マイスタディ） ④タブレット	持ち物・・・①②（必要に応じて③④）
--	--------------------

3. 学習力アップのために

授業で	家庭で	テスト対策
① 粘り強く課題に取り組む。 ② 主体的に課題に取り組み、 他の解法についても考える。 ③ 自分の考えを発言したり、周 りの意見に耳を傾けたりする。	① 基本的な用語の意味や法則 など教科書を読み直す。 ② 問題集を復習に利用する など計画的に使用する。 ③ まちがった問題をやり直し たり、同じ問題を何度も繰 り返したりする。	① テスト範囲の教科書、 授業用プリント、ワーク の復習。 提出物は期限内にする。 ② 問題は答えだけでなく、 考え方や解き方を理解 すること。

4. 年間計画

1学期		2学期		3学期	
4月	式の計算	9月	関数 $y = ax^2$	1月	
5月	↓ 平方根	10月	↓ 相似な図形	2月	↓ 標本調査
6月	↓ 2次方程式	11月	↓ 円	3月	↓ 3年間のまとめ
7月	↓	12月	↓ 三平方の定理		

5. 評価について

観点	評価の観点	主な評価資料
知識・技能	・用語、記号について正しく理解、表現しているか。 ・基礎的な概念、原理、法則を理解できているか。 ・様々な問題を的確に処理することができるか。	各種テスト ワーク、プリントなど
思考・判断・表現	・1つ1つの問題を様々な見方で考え、 それを表現することができるか。	各種テスト ワーク、プリントなど
主体的に学習 に取り組む態度	・見通しをもって、計画的に学習に取り組んでいるか。 ・粘り強く授業や課題に取り組もうとしているか。	ワーク、プリントなど 授業中での見取り

令和6年度 シラバス

第(3)学年(理)科

令和6年度 学習力重点目標

【授業時間数及び年間授業時間数】 週4時間 年間140時間

新しい時代を生き抜く子どもの育成 ～子どものチャレンジを大切にした教育活動の推進～

1. 到達目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行うことなどを通して[学習過程]，自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力[資質・能力]を次のとおり育成することを目指す。

2. 使用教材と持ち物一覧

①教科書 ②ノート ③理科の完全学習 ④白プリント ⑤授業プリント	⑥マイペース ○持ち物……………①②③ ○学校で配布……………④⑤
---	---

3. 学習力アップのために

授業で	家庭で	テスト対策
①学習課題を的確に把握し、実験・観察に積極的に取り組む。 ②疑問に思ったことや、分からないことを解決する努力する。 ③自分の良いところを伸ばし、苦手な分野にも挑戦する。	①授業で学習したことを、日常生活における事象・現象と結び付けられるよう、様々な科学的な現象に興味をもつ。 ②授業で学習したことを、その日のうちに問題集等を使って復習する。	①テスト範囲の教科書、ノート、例題などの復習。提出は期限内にする。 ②プリント類、ワークの完成度を高める。間違ったところを理解できるまで取り組む。 ③予習よりも復習に重点を置き、習ったところを何回も繰り返し練習し、自信をつけること。

4. 年間計画

1学期		2学期		3学期	
4月	化学変化とイオン	9月	運動とエネルギー	1月	自然環境や科学技術と私たちの未来
5月		10月		2月	
6月	生命の連続性	11月	地球と宇宙	3月	
7月		12月			

5. 評価について

観点	評価の観点	主な評価資料
知識・技能	・自然事象に対する概念や原理・法則の基本的な理解 ・科学的探究についての基本的理解 ・探究のために必要な観察・実験等の基本的な技能	定期試験、実力試験、小テスト、実験レポートの結果
思考・判断・表現	・自然事象の中で問題を見いだして見通しをもって課題や仮説を設定する力 ・計画を立て、観察・実験する力 ・得られた結果を分析して解釈するなど、科学的に探求力と科学的な根拠を基に表現する力 ・探究の過程における妥当性を検討するなど総合的に振り返る力	定期試験、実力試験、実験レポートの考察
主体的に学習に取り組む態度	・自然を敬い、自然事象に進んでかかわる態度 ・日常生活との関連、科学することの面白さや有用性に気付く力	授業、実験への取り組みかたや態度、提出物・ノート、問題集などの取り組み姿勢

シラバス

第(3)学年(英語)科

令和6年度 学習力重点

【授業時間数及び年間授業時間数】 週 4 時間 年間 140 時間

新しい時代を生き抜く子どもの育成
～子どものチャレンジを大切にした教育活動の推進～

1. 到達目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。

(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

2. 使用教材と持ち物一覧

①教科書 ②筆記用具 ③英語ノート ④ファイル ⑤ワーク (JOYFUL WORK3) ⑥マイペース	毎回の持ち物 ①②③④⑤ 家庭学習で使うもの すべて 必要に応じて持ってくるもの ⑥
---	--

3. 学習力アップのために

授業で	家庭で	テスト対策
①積極的に授業に参加しましょう。 ②コミュニケーション活動をするときは、必ず英語で行いましょう。わからない時は、ジェスチャー等で反応しましょう。 ③グループ活動、ペア活動など積極的に行い、困っている仲間を助けましょう。 ④聞くとき、話すとき、書くとき、読むときのメリハリをつけましょう。	①忘れ物をしないように準備する ②宿題、課題を必ずする ③ノート、ワークブック等で復習を家庭で計画的、継続的に学習する。 ④やりとりをして表現しなかったが、わからなかった単語等を調べて、次の授業につなげる。 ⑤教科書の音読をしっかりとる。	①ノート、ワークブック等提出物の確認。 ②プリント、ワークブック、ノート等を見直し、間違ったところを繰り返すなど、完成度を高める。 ③教科書の音読をしっかりとる。

4. 年間計画

1 学期		2 学期		3 学期	
4 月	Unit1 School Life Around the World	9 月	Unit4 AI Technology and Language	1 月	Unit 7 Tina's Speech
5 月	Daily Life 1		Let's Read 2		World Tour 2
	Unit12 Our School Trip	10 月	Daily Life2	2 月	Let's Read 3
6 月	Daily Life2		Unit 5 Plastic Waste		Unit8 Goodbye, Tina
	Unit3 Lessons From Hiroshima	11 月	Daily Life 4	3 月	You Can Do It! 3
	Active Grammar 1		Unit 6 The Chorus Contest		Let's Read More 1
7 月	Let's Read 1	12 月	Active Grammar2		Let's Read More 2
	World Tour 1		You Can Do It! 2		Let's Read More 3
	You Can Do It 1				

5. 評価について

観点	評価の観点	主な評価資料
知識・技能	話すこと(やり取り、発表)	定期テスト・実力テスト 小テスト 授業(ワークシート)など
	書くこと	
	読むこと	
思考・判断・表現	話すこと(やり取り、発表) 聞くこと	定期テスト・実力テスト 小テスト グループワーク、ワークシート パフォーマンステスト(発表)
	書くこと	
	読むこと	
主体的に学習に取り組む姿勢	粘り強い取り組み	グループワーク、パフォーマンステスト(発表) リーディング、NS活動、ワークシート、提出物
	自己調整力	

令和6年度 シラバス

第(3)学年(音楽)科

令和6年度 学習力重点目標

【授業時間数及び年間授業時間数】 週1時間 年間35時間

新しい時代を生き抜く子どもの育成 ～子どものチャレンジを大切にした教育活動の推進～

1. 到達目標

音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

(1) その音楽の曲想と構造との関係、音楽文化の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現ができるようにする。

(2) 音楽の表現を創意工夫することや、その音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

(3) 主体的・協同的に学習に取り組み、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2. 使用教材と持ち物一覧

①教科書(一般) ②教科書(器楽) (「音楽のおくりもの」) ③ミュージックノート・のり ④音楽ファイル⑤ミュージックランド ⑥ソプラノリコーダー⑦アルトリコーダー	毎回の持ち物 ①②③④⑤ 学校置いて良いもの ①②③④⑤ 音楽室で預かるもの ⑥⑦
--	---

3. 学習力アップのために

授業で	家庭で	テスト対策
・その音楽や音楽文化に親しもう、楽しもう、皆と協力して一生懸命・積極的に学習活動しようとする。 ・ノートや課題として出されるプリントを真剣に取り組み、必ず提出し、返却されたプリントはノートに貼るか、ファイルにとじる。 ・実技で苦手な時も、逃げずに積極的にチャレンジする姿勢を持つ。	・授業で学習した音楽を、楽しくロズさんで表現したり興味を持って聴いたりして生活の中に活かしてみる。 ・様々なジャンル、国の音楽に親しんでみる。	・実技テストは、ぶっつけ本番ではなく、歌ったり、イメージ演奏練習などをしてのぞむ。 ・授業で学習した音楽の特徴などを、楽譜、ノート、プリントでよく復習する。(大事なところを自分でノートにまとめて理解するのも良い)

4. 年間計画

1学期		2学期		3学期	
4月	花(合唱) レヴェル・プレイン(リコーダー)	9月	クラス合唱曲	1月	早春賦, 卒業式合唱曲(歌唱) 巣鶴鈴慕(鑑賞)
5月	カントリーロード(ギター) 交響曲第5番ハ短調(鑑賞)	10月	クラス合唱曲	2月	クラス合唱
6月	沖縄の音楽(鑑賞) ボレロ(鑑賞)	11月	クラス合唱曲 ブルタバ(鑑賞)	3月	学年合唱
7月	バンド・合唱コンクール曲	12月	帰れソレントへ(歌唱) 耳でたどる西洋音楽の歴史(鑑賞)		

5. 評価について

観点	評価の観点	主な評価資料
知識・技能	・曲想と音楽の構造などについての理解 ・音楽の多様性についての理解 ・創意工夫を生かした音楽表現の技能	・筆記テスト ・ワークシート ・実技テスト ・授業での見取り
思考・判断・表現	・音楽表現への思いや意図。 ・音楽を自分なりに評価し、味わうこと。	・筆記テスト ・ワークシート ・実技テスト ・授業での見取り
主体的に学習に取り組む態度	・音楽に親しみ楽しもうとする姿勢。 ・主体的、協同的な姿勢	・筆記テスト ・ワークシート ・実技テスト ・授業での見取り

令和6年度 シラバス

第(3)学年(美術)科

令和6年度 学習力重点目標

【授業時間数及び年間授業時間数】 週1時間 年間35時間

新しい時代を生き抜く子どもの育成 ～子どものチャレンジを大切にした教育活動の推進～

1. 到達目標

- (1) 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。
- (2) 対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。
- (3) 自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てる。

2. 使用教材と持ち物一覧

絵具セット・スケッチブック・色鉛筆(12色以上)・教科書・資料集・筆記用具(鉛筆・定規を含む)	持ち物…左のものすべて 学校においてよいもの…すべて 美術室保管…絵具セット・スケッチブック (スケッチブックは学校で配布)
---	---

3. 学習力アップのために

授業で	家庭で	テスト対策
積極的に授業に参加し、取り組んでください。 質問など、どんどん発言してください。 美術の授業は作品制作が中心です。そのためのアイデアの出し方、基礎的な技術、技術の展開、色、など演習として学びます。これらの技術を展開して、完成度の高い作品を作ってください。 鑑賞を通じて知ったいろいろな作品を見て「いいな」「面白いな」「変だな」「すごいな」とびっくりしてください。その感動が次の作品に活かされると思います。	普段の生活の中で、「美しいな」、「不思議だな」、「面白いな」と思うことが大切です。 自然の中、町の中、部屋の中、自分の中、いろいろなところに美しさや不思議さ、面白さが潜んでいます。見つけてください。	教科書、資料集、プリントをもう一度見直してください。

4. 年間計画

1学期		2学期		3学期	
4月	オリエンテーション ↓	9月	鑑賞	1月	鑑賞
5月	●作品制作 絵画表現(リアル表現) ↓	10月	●作品制作 (ボックスアート) ↓	2月	表現研究(ディペイズマン)
6月	●作品制作 絵画表現(イメージ表現) ↓ ↓	11月	↓	3月	
7月	鑑賞	12月	●作品制作 (デジタル表現) 鑑賞		

5. 評価について

観点	評価の観点	主な評価資料
知識・技能	基礎的な表現方法の習得 基礎知識の理解	提出物・演習および作品 定期テスト
思考・判断・表現	発想力(イメージ展開の豊かさ) 応用力(意図に応じて創意工夫ができるか) 作品の完成度	アイデアスケッチおよび作品
主体的に学習に取り組む態度	鑑賞課題への興味・関心 作品に取り組む粘り強さ 積極的な授業の取り組み 期限内に課題をやり遂げることができているか。	提出物および授業態度 制作態度 授業態度 提出物(ワークシート)および提出作品

令和6年度 シラバス

第(3)学年(技術)科

令和6年度 学習力重点目標

【授業時間数及び年間授業時間数】 週 0.5 時間 年間 17.5 時間

新しい時代を生き抜く子どもの育成 ～子どものチャレンジを大切にした教育活動の推進～

1. 到達目標

栽培実習、情報・制御実習を通じて生活に役立つ技能及び現代社会に必要な生活に関する知識の習得にあたる。

2. 使用教材と持ち物一覧

①教科書 ②ハンドノート ③授業プリント ④実習教材	○持ち物…①・② ○学校で配布…③・④
-------------------------------------	------------------------

3. 学習力アップのために

授業で	家庭で	テスト対策
①ポイントとなることをしっかりとおさえる。 ②ハンドノートにしっかりと取り組む。 ③どうすればより完成度の高い作品ができるか考えながら実習に取り組む。	①教科書やハンドノートの内容の理解を深める。 ②ものづくりに関心を持つ。	①教科書、ハンドノート、その他プリントなど、授業で取り組んだ内容を振り返る。

4. 年間計画

1学期		2学期		3学期	
4月	オリエンテーション	9月	生物育成の技術による問題解決	1月	計測・制御のプログラミングによる問題解決
5月	生物育成の技術の原理・法則と仕組み 栽培実習	10月		2月	社会の発展と情報の技術
6月		11月	情報の技術の原理・法則と仕組み	3月	
7月		12月	双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決		

5. 評価について

観点	評価の観点	主な評価資料
知識・技能	生活や社会で利用されている技術について理解するとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	・定期テスト ・実習での技能テスト ・実習作品 ・ワークシート
思考・判断・表現	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・定期テスト ・実習作品 ・ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。	・定期テスト ・実習、授業態度 ・実習作品 ・ワークシート

令和6年度 シラバス

第(3)学年(家庭)科

令和6年度 学習力重点目標

【授業時間数及び年間授業時間数】 週 0.5時間 年間 17.5 時間

新しい時代を生き抜く子どもの育成 ～子どものチャレンジを大切にした教育活動の推進～

1. 到達目標

生活の営みにかかる見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。

(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらにかかる技能を身に付けるようにする。

(2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して、課題を解決する力を養う。

(3) 自分と家族、家庭生活と地域の関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し、創造しようとする実践的な態度を養う。

2. 使用教材と持ち物一覧

①教科書	毎回持ってくるもの ① ②
②ハンドノート	実習に必要なものは、連絡します。

3. 学習力アップのために

授業で	家庭で	テスト対策
・授業の根幹は先生の話です。しっかりと話を聞くことが大切です。先生が話していた内容で、大切だと思ったことなどメモしていきましょう。 ・積極的に発表し、人の意見もよく聞き、自分の考えの質を高めていきましょう。疑問を共有することも大切です。 ・製作物は授業中に集中して仕上げましょう。	・授業で習ったことを、家庭で実践してみましょう。 ・授業中に終わらなかった課題は、宿題になります。家で調べて、考えて取り組んでいきましょう。	・ハンドノートとプリントをしっかりと見直しましょう。特に、先生が重点的に説明していたことを思い出し、授業でどのような力を身につけたのかよく思い出しましょう。 ・提出物に関しては、期限に間に合うように計画的に取り組みましょう。

4. 年間計画

1学期		2学期		3学期	
4月	家族・家庭と地域	9月	生活を豊かにするために	1月	↓ 日常の調理と地域の食文化2 ↓
5月	これからの家族と地域	10月	住まいの役割と安全な住まい方	2月	
6月	責任ある消費者になるために	11月	↓	3月	
7月	衣服の選択と手入れ	12月	↓ 日常の調理と地域の食文化 ↓		

5. 評価について

観点	評価の観点	主な評価資料
知識・技能	・家庭生活と消費について基礎的な知識を身につけているか。 ・問題解決の方法を、自分の言葉で表現することができるか。 ・製作物を集中して時間内に製作しているか。	テスト ワークシート 製作物
思考・判断・表現	家庭生活と消費についての課題や、環境に配慮した消費生活についての課題を見つけ、自分なりの工夫を考えることができているか。	テスト ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	家庭生活と消費、環境への配慮について関心をもって学習活動に取り組む、よりよい生活を実践しようとしているか。	授業での取り組み 製作の過程

令和6年度 シラバス

第(3)学年(保健体育)科

令和6年度 学習力重点目標

【授業時間数及び年間授業時間数】 週 3 時間 年間 105 時間

新しい時代を生き抜く子どもの育成 ～子どものチャレンジを大切にした教育活動の推進～

1. 到達目標

【体育分野】

- ①運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- ②運動についての自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- ③運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。

【保健分野】

- ①個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- ②健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- ③生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う

2. 使用教材と持ち物一覧

- ①教科書「新しい保健体育」
- ②実技書「中学体育実技」
- ③体操服(水泳期間:水着・水泳帽・ゴーグル・タオル)
- ④体育館シューズ
- ⑤配布資料(ファイルまたは、ノート)
- ⑥タブレット(必要な時)

- 持ち物:①②③④⑤⑥(授業で連絡します。)
- 学校において良いもの:①②④⑤⑥

3. 学習力アップのために

授業で	家庭で	テスト対策
①積極的に取り組む。 ②自己の課題を見つけ、解決に向けて、思考・判断表現する。 ③仲間と協力し、自己の役割を果たす。 ④健康や安全に留意し、自己の最善を尽くす。	①汗をかくくらいの適度な運動をしよう。 ②バランスの良い食事をとろう。 ③十分な睡眠時間をとろう。 ④スポーツを観戦するなど運動やスポーツに触れる機会を持とう。 ⑤授業で習ったことを復習し、教科書などを参考に知識技能を深めよう。	①教科書・実技書を理解が深まるまで読む。 ②配布プリントや資料を個人でノートやファイルにまとめて見直しをする。 ③授業で学んだポイントやコツを確認し、表現できるようにしておく。

4. 年間計画

1学期		2学期		3学期	
4月	体づくり運動 (新体力テスト関連)	9月	体育理論3章1～3	1月	保健6章6～8
5月	陸上競技 (短距離走・リレー)	10月	ダンス	2月	ネット型球技 (テニス)
6月	水泳 (バタフライ・メドレー)	11月	ゴール型球技 (バスケットボール)	3月	ネット型球技 (バドミントン)
7月	保健5章1～5	12月	保健6章1～5		

5. 評価について

観点	評価の観点	主な評価資料
知識・技能	・運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践できるようにするため、運動、体力の必要性を理解する。 ・基本的な技能を身に付ける。 ・運動やスポーツが多様であることを理解する。	定期テスト 実技テスト 学習の記録等の記入状況(提出物) 授業中の言動
思考・判断・表現	・自己の課題を発見する。 ・合理的な解決に向けて思考、判断する。 ・自己や仲間の考えたことを他者に伝える。	定期テスト 実技テスト 学習の記録等の記入状況(提出物) 授業中の言動
主体的に学習に取り組む態度	・公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認める。 ・健康・安全に留意し、自己の最善を尽くし運動をする。	実技テスト 学習の記録等の記入状況(提出物) 授業中の態度

R6年度の定期試験、学力診断テストの予定

3 年	全国学力学習調査	4 / 18 (火)
1 年	IRTを活用した堺市学力学習調査	5 / 31 (金)
2 年	IRTを活用した堺市学力学習調査	6 / 4 (火)
全学年	第一回定期テスト	6 / 12 (水)、13 (木)、14 (金)
3 年	チャレンジテスト	9 / 3 (火)
3 年	第一回学力診断テスト	9 / 13 (金)
全学年	第二回定期テスト	9 / 26 (木) 9 / 27 (金)
3 年	第二回学力診断テスト	11 / 7 (木)
全学年	第三回定期テスト	11 / 27 (水)、28 (木)、29 (金)
1・2 年	チャレンジテスト	1 / 9 (木)
3 年	第三回学力診断テスト	1 / 9 (木)
3 年	卒業テスト (学年末試験)	1 / 27 (月)、28 (火)、29 (水)
1・2 年	学年末試験	2 / 26 (水)、27 (木)、28 (金)
3 年	公立対応学力診断テスト	2 / 26 (水)、27 (木)

※4 / 19現在の予定です。変更が生じましたら、その都度お知らせいたします。